

第16回青森県障がい児・者サッカー大会 にっこにこフェスタ あおもり



令和 7 年 9 月 15 日(祝・月)

オカでんアリーナ 多目的広場

主 催

特定非営利活動法人レアリサルススポーツクラブ

主 管

青森県障がい児・者サッカー大会 実行委員会

後 援

青森県 青森市 青森県教育委員会 青森市教育委員会

認定特定非営利活動法人トラッソス

(順不同・敬称略)

協 賛

hummel 株式会社七輝 株式会社三沢林業 有限会社ビックジャパン

社会福祉法人青森令和会 北日本エネルギー株式会社 株式会社 R.S.C

株式会社リンクステーション 株式会社アサンテ

(順不同・敬称略)

開催目的

知的障がいや発達障がいのある方々が日常的にスポーツに親しめる機会を決して多くはありません。そのような現状において、各地で開催する“にっこにこフェスタ”が進める「誰でも、一人でも、仲間とも、家族とも」楽しめるサッカーの提案を“**にっこにこフェスタあおもり**”においても進め、知的・発達障がい児・者がスポーツや運動をもっと身近に感じられる社会につなげることを本大会の目的とします。

そのためにも、勝敗にとらわれることなく、参加者の見せる生き生きした姿や不安を乗り越えチャレンジする姿が評価される大会を行います。

目 次

挨拶	．．．．．	4
祝辞	．．．．．	6
タイムテーブル	．．．．．	10
会場MAP	．．．．．	11
大会運営スタッフ	．．．．．	12
ゲームスケジュール	．．．．．	13
リーグ表	．．．．．	14
出場チーム	．．．．．	15
競技規則	．．．．．	16



青森県障がい児・者サッカー大会実行委員会
実行委員長 時 本 英 知

第16回青森県障がい児・者サッカー大会「にっこにこフェスタあおもり」にご参加いただき、誠にありがとうございます。

昨年度は荒天のため、やむなく中止という苦しい決断をいたしました。大会を楽しみにしてくださっていた選手やご家族の皆様のことを思うと、本当に悔しく、残念な気持ちでいっぱいでした。その分も込めて、今年こそはと準備を重ね、こうして皆さんと一緒にこの日を迎えられたことを心から嬉しく思っております。

グラウンドに立つ選手の皆さんが見せてくれる笑顔やチャレンジする姿は、私たちに大きな力を与えてくれます。また、地域の方々や若い世代のボランティアが加わり、みんなで支えてくださることで、「にっこにこフェスタあおもり」は年々広がりを見せ、あたたかい大会へと育ってきました。

今日は、昨年の分まで思い切りボールを追いかけて、仲間とともにサッカーを楽しみ、たくさんの笑顔を交わし合っていただければ幸いです。この大会が、皆さんにとってかけがえのない時間となり、地域のつながりをさらに深め、誰もが安心して自分らしく過ごせる社会につながっていくことを願っています。

最後に、本大会を直接支えてくださった皆様はもちろんのこと、陰ながらご協賛くださった企業・団体・個人の皆様、準備に携わってくださった多くの方々にも、心より御礼申し上げます。皆様の力があってこそ、今日のこの場を実現することができました。本当にありがとうございます。

どうぞ本日一日、サッカーを楽しみ、たくさんの笑顔を臉に焼き付けていってください。



特定非営利活動法人レアリススポーツクラブ
理事長 松 浦 淳

第16回青森県障がい児・者サッカー大会「にっこにこフェスタあおもり」にご参加いただき、誠にありがとうございます。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、本来であれば2024年度にこのフェスタは15回目を迎える筈でした。気象状況、特に低気温を考慮し、誠に断腸の思いで中止した「にっこにこフェスタあおもり」今年こそ改めて、皆様とともに楽しく満喫することができれば幸いです。

選手の皆様が会場で見せる熱意、笑顔、そして挑戦する姿は、毎年私たちに元気と感動を与えてくれます。再会、そして新たな出会いがさらなる活力を生み、若い世代から落ち着きのある世代のボランティアやスタッフも一緒に大会を盛り上げます。この「にっこにこフェスタあおもり」が、皆様にとって忘れられない一日になり、普段の暮らしの中の楽しみ、いいアクセントになることを願っています。共に汗を流し、普段をねぎらい、笑顔で未来を描いていきましょう。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

本大会が地域の一体感を深め、インクルーシブ社会の実現に向けた一歩となることを信じています。この日だから会えた仲間が、この日以外にも、普段の暮らしの中で共に活動するようになったり、見かけたら笑顔をかわせるようになったりしたら、そうしてお互いの居場所が前までより広がっていく機会にできたら、何よりの幸せです。これからも皆様と共に歩んでいければ幸いです。

祝 辞



青森県知事

宮 下 宗 一 郎

第 16 回青森県障がい児・者サッカー大会の開催を心からお祝い申し上げます。
近年のパラリンピックやデフリンピック、スペシャルオリンピックスといった国際競技大会などにおける日本人選手の活躍は、障がい者スポーツへの関心を高めるとともに、障がい者に対する理解と認識を深め、その自立と社会参加の推進に大きく寄与しています。

県では、障がいのある人もない人も分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重しながら、ともに暮らせる「青森新時代」の共生社会づくりを目指し、障がいを理由とする差別の解消や障がい者への合理的配慮に関しての普及啓発、障がい者の生活支援や生活環境の充実のための施策を展開しています。

特に、障がい者の社会参加の推進については、来年本県で開催される第 25 回全国障害者スポーツ大会に向けた準備を着実に進め、障がい者がスポーツに参加する機会の拡大に積極的に取り組んでいます。

こうした中、知的障がいや発達障がいのある方々にとって、スポーツをより身近に感じられる社会の実現を目指す本大会の開催は、誠に意義深く、障がい者スポーツのさらなる振興につながることを御期待申し上げます。

結びに、本大会の開催に当たり御尽力された関係者の皆様に深く敬意を表するとともに、サッカーを通じた交流の輪が一層広がり、本大会が皆様にとって思い出に残るすばらしい大会となりますことを心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉いたします。

祝 辞



青森市長
西 秀 記

本日、「第 16 回青森県障がい児・者サッカー大会」が、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

本大会は、知的障がいや発達障がいのある方にスポーツ活動の場を提供するとともに、大会を通して同じ楽しみを持つ仲間との交流の場、活動支援者の情報交換の場とすることで、各地域における活動の活性化を図ることを目的としており、これまでの開催を通じて、障がいのある方の社会参加の促進に多大なる貢献をされてこられました。

また、勝敗だけにとらわれることなく、「誰でも、一人でも、仲間とも、可読とも」楽しめるサッカーを提案し、スポーツを身近に感じられる機会を提供していただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

本市では、平成 29 年に「障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」を制定し、市民の理解を深めるとともに、社会参加を促進する取組を進めているところであり、本日、大会を通じて障がいのある人もない人もサッカーを楽しむことは、障がいへの理解や障がいのある方の社会参加の促進につながる大変意義深い機会となるものであります。

参加する選手の皆様におかれましては、コートの中で精一杯ボールを追いかけ、心からサッカーを楽しんでいただき、応援する方々におかれましては、温かい声援を送っていただき、会場におられるたくさんの方々の笑顔があふれる素晴らしい大会にさせていただきたいと思います。

結びに、本大会の開催に尽力されました特定非営利活動法人「レアリスルスポーツクラブ」をはじめ、関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、本日お集まりの皆様のみずみずの御健勝・御活躍を祈念申し上げます。

祝 辞



青森県教育委員会
教 育 長 風 張 知 子

第16回青森県障がい児・者サッカー大会が、開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

さて、青森県教育委員会では、県民が生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現できるよう、スポーツに親しむ環境づくりや競技力の向上に取り組んでいるところです。

また、令和8年度に本県で開催される第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり障スポ」に向け、障がい者スポーツに対する県民の興味・関心も高まりを見せています。

こうした中、本大会が開催されますことは大変意義深く、参加される皆さんが、仲間とともに、楽しみながらサッカーに取り組む姿は、多くの人にスポーツの素晴らしさを伝えるとともに、スポーツを通じた地域の活性化や共生社会の実現に大きく貢献してくれるものと期待しています。

参加される皆さん、日頃の練習の成果を存分に発揮し、最後まで全力でプレーしてください。そして、多くの仲間との交流の輪を広げ、本大会が思い出に残る大会となることを願っています。

結びに、本大会の開催に当たり、御尽力された関係者の皆様に深く敬意を表するとともに、大会の御成功と障がい児・者サッカー大会のますますの御発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

スポーツが育む、未来への希望



青森市教育委員会

教 育 長 工 藤 裕 司

第16回青森県障がい児・者サッカー大会にっこにこフェスタあおもりが開催されますことに対しまして、心よりお祝い申し上げます。スポーツ初心者の方も含め、参加される全ての方々の生き生きとした姿を拝見できることを、大変嬉しく思います。

さて、サッカーはチームメイトと協力し、ボールをつなぎながらゴールを目指すスポーツです。今日、この場所で皆さんが見せてくれるプレーは、まさにパラリンピックの理念そのものです。パラリンピックの理念に共通する「勇気」「強い意志」「インスピレーション」「公平」という4つの価値。選手の皆さんがグラウンドでボールを追いかける姿、仲間とパスをつなぐ姿は、まさにこれらの価値を体現しています。

そして、選手の皆さんのプレーは、私たちや社会全体に、多くの気づきを与えてくれます。多様性を認め合い、互いの違いを尊重し、支え合うこと。どんな困難にも臆することなく、目標に向かって挑戦し続けること。これこそが、より良い共生社会を築くための大切な一歩です。

また、この大会は「誰でも、一人でも、仲間とも、家族とも」体を動かすことの楽しさやふれあいの豊かさなどを味わうことができる素晴らしい機会でもあります。勝敗にかかわらず、今日一日、思いっきりサッカーを楽しんでください。そして、この大会で得た経験を、未来へ向かって力強く歩んでいく力にしてほしいと願っています。

最後に、本大会の開催に当たり、御尽力くださった大会関係者の皆様に感謝申し上げますと共に、本大会のますますの御発展と、御参会の皆様の御健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

タイムテーブル

第 16 回青森県障がい児・者サッカー大会 にっこにこフェスタあおもり

9 : 3 0 受付開始

1 0 : 0 0 監督者会議

1 0 : 1 5 開会式

1 0 : 4 0 第 1 試合 キックオフ

1 4 : 4 5 閉会式

開 会 式	
挨拶	青森県障がい児・者サッカー大会実行委員会 実行委員長 時本 英知
来賓祝辞	青森県知事 宮下 宗一郎 様 青森市長 西 秀記 様 青森県教育委員長 風張 知子 様 青森市教育委員長 工藤 裕司 様

閉 会 式	
表彰	特定非営利活動法人レアリスルスポーツクラブ 理事長 松浦 淳
挨拶	特定非営利活動法人レアリスルスポーツクラブ 理事長 松浦 淳

会場 MAP



会場番号について

1 本部 大会実行本部です。大会に関する質問、連絡等について対応いたします。

2 受付 個人・団体参加の受付を行います。

3 Aコート ファンタジスタリーグを行うコートです。

4 Bコート ストライカーリーグを行うコートです。

5 チャレンジブース 色々なサッカーアトラクションで遊ぶことができるブースです。

6 エアピッチブース エアピッチを利用したミニサッカーコートです。即席チームでサッカーを楽しみましょう。

7 待機スペース チーム待機、荷物保管、雨天時の待機場としてご利用いただけます。※各自貴重品管理をお願いします。

8 駐車場 お車でお越しの方はこちらをご利用ください。路上駐車は絶対におやめください。

 エアピッチブース・チャレンジブースは個人参加の方も楽しみいただけます。引率スタッフ、ご家族の皆様も一緒にサッカーをお楽しみ下さい！

※大会に参加される個人、団体の責任者は受付をお願いいたします。

※サッカーコートを囲むエリア内は、選手及び STAFF パスを身につけた引率者以外の方の立ち入りはできません。

※会場内は禁煙です。喫煙は決められた「喫煙場所」にてお願いいたします。

※貴重品やチーム備品の管理は各自お願いいたします。紛失、盗難への保障はいたしませんのでご了承ください。

※芝生内は飲食禁止(選手の水分補給を除く)となります。

大会運営スタッフ

実行委員長

時本 英知

大会実行委員会

松浦 淳	牧野 紀仁	畑山真太郎	小野 竜治	齋藤 準	中川 敏之
市川 友一	袴田 健	小山内敬子	藤本 祥平	工藤 七恵	

大会審判団

木村 未来	久保沢透大	黒岡 美月	相馬 佑紀	石川 直樹	花井 俊浩
袴田智太郎	袴田陽太郎	花井 水漣	花井 紫音	向川 華菜	今泉 燎架

学生ボランティア

奈良 彩寧	川村 文美	相川 真羽	神山 颯陽	杉田 璃子	阿部 伶音
工藤 未鈴	長尾 彩那	伊藤 由羅	成田萌々香	成田 結香	小笠原陽香
工藤 遙十	島川 聖来	小笠原春香	斉藤 結愛		

NPO法人レアリスルスポーツクラブ

木村 寛太	柳原 幸二	三浦凜太郎	原田 春奈	小宮山穂波	澤田 紅
小林 李奈	澤田千絵子	安田 陽輝	畑山晃士郎	斉藤 壮太	野田頭彩夏
成田 知可	加藤奈緒美	西村七七瀬	庄司 和貴	溝江 美香	十枝内康生
木立多美子	館野あづさ	中川 華純	三國 佳澄		

ゲームスケジュール

ストライカーリーグ

時間	内容	試合番号	対戦チーム		
10:40~10:59	第1試合	B-1	あっぷFC	対	あっぷ2オールスターズ
11:10~11:29	第2試合	B-2	レアリサルスター	対	びーたFC
11:40~11:59	第3試合	B-3	ミラクルレアリサル	対	あっぷFC
13:00~13:19	第4試合	B-4	あっぷ2オールスターズ	対	レアリサルスター
13:30~13:49	第5試合	B-5	びーたFC	対	ミラクルレアリサル

ファンタジスタリーグ

時間	内容	試合番号	対戦チーム		
10:40~11:09	第1試合	A-1	トラッソスS	対	セレジェイラFC
11:15~11:44	第2試合	A-2	トラッソスV	対	レアリサル FUN
11:50~12:19	第3試合	A-3	レアリサル ENJOY	対	トラッソスT
12:50~13:19	第4試合	A-4	レアリサル FUN	対	トラッソスS
13:25~13:54	第5試合	A-5	セレジェイラFC	対	トラッソスT
14:00~14:29	第6試合	A-6	トラッソスV	対	レアリサル ENJOY

リーグ表

ストライカーリーグ

	びーたFC	あっぷFC	あっぷ2 オールスターズ	レアリサル スター	ミラクル レアリサル
びーたFC				B-2	B-5
あっぷFC			B-1		B-3
あっぷ2 オールスターズ		B-1		B-4	
レアリサル スター	B-2		B-4		
ミラクル レアリサル	B-5	B-3			

ファンタジスタリーグ

	トラッソスS	トラッソスT	トラッソスV	セレジェイラFC	レアリサル ENJOY	レアリサル FUN
トラッソスS				A-1		A-4
トラッソスT				A-5	A-3	
トラッソスV					A-6	A-2
セレジェイラFC	A-1	A-5				
レアリサル ENJOY		A-3	A-6			
レアリサル FUN	A-4		A-2			

競技規則

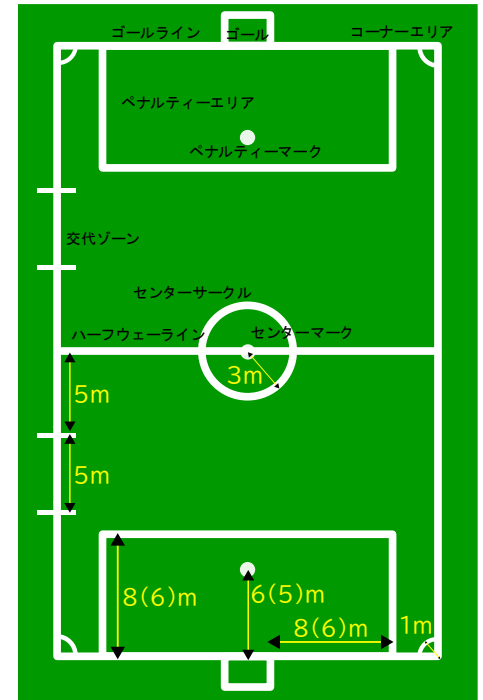
本大会は、下記の本大会競技規則に基づき実施する。

はじめに

本競技規則の各条に定められていない事象が発生した場合、審判員はサッカーおよびフットサル競技規則を準用しつつ、競技の精神に則って対応する。審判の判定は常にリスペクトされなければならない。

第1条 競技のフィールド

- (1) フィールドの名称(右図参照)
- (2) フィールドサイズ (タッチライン×ゴールライン)
 - ① ファンタジスタリーグ (Fリーグ) 40m×25m
 - ② ストライカーリーグ (Sリーグ) 32m×20m
- (3) ペナルティーエリア ※ () は Sリーグ
 - ① ゴール内側から外に 8(6)m
 - ② ①からタッチラインと並行に 8(6)m
- (4) ペナルティーマーク ※ () は Sリーグ
ゴールライン中央から垂直に 6(5)m 地点
- (5) センターサークル 半径 6m
- (6) 交代ゾーン
 - ① ベンチ側のタッチラインに設置される
 - ② ハーフウェーラインから 5m のところから長さ 5m で設置される。
- (7) コーナーエリア
それぞれのコーナーから半径 1m の四分円



第2条 ボール

- (1) 大会本部が指定するボールのみを使用する。
- (2) Fリーグ サッカーボール 5号球
- (3) Sリーグ サッカーボール 4号球
- (4) 空気圧は、同一ピッチで使用されるボールの使用可能な数値の下限に統一する。

第3条 競技者の数

- (1) 本大会は、中学生以上を対象としたFリーグ(ファンタジスタリーグ)と年齢を問わず幅広い選手が参加するSリーグ(ストライカーリーグ)の2つのリーグを実施する。
- (2) 競技者の数は1チーム5名以内とし、その内1名をゴールキーパーとする。
- (3) 介助員は主審の承認を得て、2名までフィールド内に入ることができる。介助員の介入が試合に不当に影響を与えたと審判が判断したときには、その介助員は警告され、不当な影響を与えた地点から相手チームに間接フリーキックを与える。
- (4) 競技者は試合中、交代ゾーンから何回でも自由に交代できる。
 - ① 交代要員は競技者が完全にフィールドを出てからピッチに入る。
 - ② 何らかの理由で競技者が交代ゾーン以外の場所から出る場合は、審判の承認を得て退出する。
- (5) ゴールキーパーの交代はアウトオブプレー中に限られ、主審の承認を必要とする。ゴールキーパーがフィールド上の他の競技者と交代する場合も同様とする。

第4条 用具

- (1) 競技者が身につけなければならない基本的な用具は次のものとする。
 - ① 服装 個別の背番号付きのシャツ(※ビブスでも代用可能)・ショーツ・ソックス
 - ② シューズ ※運動靴、トレーニングシューズ、固定式スパイク
 - ③ すね当て
 - ④ GKは手を保護するためのグローブを着用する
 - ⑤ 眼鏡使用者は、スポーツゴーグルなど安全性を認められたもののみ着用できる

競技規則

- (2) 時計、装飾品、金属の取り外し式スパイク、その他、自身及び他の競技者に危険を及ぼす恐れのある用具を着用することは一切認めない。
- (3) 自身の保護に必要な用具は、試合前に主審に確認し、承認されたもののみ使用できる。

第5条 主審・第2審判

- (1) 主審・第2審判は、1試合に1名ずつ任命される。
- (2) 主審は、第2審判と協力し、担当する試合を競技規則に沿って運営する。
- (3) 主審・第2審判は反則があったとき、その他必要と認める場合は笛を吹いて試合を停止する。
- (4) 主審・第2審判の判定に不一致があった場合、主審の判定が優先される。
- (5) 主審は、担当する試合において最終的な一切の権限をもつ。
- (6) 主審・第2審判の権限が及ぶエリアはフィールド、ベンチ及び関係するエリアである。

第6条 その他の審判員

- (1) 大会本部より、主審・第2審判を援助する目的で副審が任命されることがある。
- (2) 副審は主審、または第2審判に負傷や事故があった場合、第2審判に代わる。

第7条 試合時間

- (1) プレー時間
 - ① Fリーグ 前半12分 ハーフタイム5分 後半12分
 - ② Sリーグ 前半7分 ハーフタイム5分 後半7分
- (2) ハーフタイム3分経過後、審判の合図でフィールドに入り後半に備える。
- (3) 原則として空費された時間の追加は行わない。アディショナルタイムの表示も行わない。
- (4) 時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。

第8条 プレーの開始及び再開

- (1) キックオフを行うチームの決定
 - ① 前半キックオフを行うチームは、両チームがピッチに入場する前に、主審によるコイントスにより決定する。
 - ② コイントスに勝ったチームが前半のキックオフを行う。
 - ③ 後半開始のキックオフは、前半開始のキックオフを行わなかったチームが行う。
- (2) キックオフ
試合開始、得点ののち、後半開始のとき行われる。
 - ① キックオフを行う競技者を除いて、すべての競技者はフィールドの自分たちのハーフ内にいなければならない。
 - ② 相手競技者はキックオフが行われるまでセンターサークルに入ることはできない。
 - ③ 主審の笛による合図の後にキックを行う。
 - ④ ボールが蹴られて明らかに動いたときにインプレーとなる。
 - ⑤ キッカーは蹴った後、他の競技者が触れるまで、再びボールに触れてはならない。
 - ⑥ 違反があった場合、キックオフを再び行う。
 - ⑦ キックオフから直接得点することはできない。
- (3) 直接フリーキック
直接フリーキックに相当するファウルがあった場合行われる。第13条(1)を参照。
- (4) 間接フリーキック
間接フリーキックに相当するファウルがあった場合行われる。第13条(2)を参照。
- (5) ドロップボール
競技規則に記載されていない理由によって審判員が試合を一時的に停止した場合の再開の方法として行われる。
 - ① 試合を停止したときにボールのあった位置から行われる。
 - ② 試合を停止したときに最後にボールに触れたチームの競技者にボールはドロップされる。
 - ③ 試合を停止したときのボールの位置がペナルティーエリア内の場合は守備側のゴールキーパーにドロップされる。

第9条 ボールインプレー及びボールアウトオブプレー

- (1) アウトオブプレー
ボールは次のときにアウトオブプレーとなる。
 - ① フィールド上または空中にかかわらず、ボールの全体がゴールラインまたはタッチラインを完全に越

競技規則

② 審判がプレーを停止した。

(2) インプレー アウトオブプレーでない時間全て。

第10条 得点の方法

(1) ゴールポストの間とクロスバーの下でボールの全体がゴールラインを越えたとき、ゴールにボールを入れたチームが反則を犯していなければ、1 得点となる。

(2) 得点となった場合に主審はホイッスルを鳴らす。

第11条 オフサイド

(1) Fリーグ、Sリーグともに、オフサイドはない。

第12条 ファウル及び不正行為

(1) 直接フリーキックになる反則

競技者が次の反則のいずれかを相手競技者に対して不用意に、無謀に、または、過剰な力で犯したと主審が判断した場合、直接フリーキックが与えられる。また、自分のペナルティーエリア内で犯した場合ペナルティーキックが与えられる。

- ① チャージする。
- ② 飛びかかる。
- ③ ける。またはけろうとする。
- ④ 押す。
- ⑤ 打つ、または、打とうとする（頭突きを含む）。
- ⑥ タックルする、または、挑む。
- ⑦ つまづかせる、または、つまづかせようとする。
- ⑧ 相手競技者を押さえる。
- ⑨ 身体的接触によって相手競技者を妨げる。
- ⑩ 人をかむ、または人につばを吐く。
- ⑪ ボール、相手競技者または審判員に対して物を投げる、あるいは、持った物をボールに当てる。
- ⑫ 手や腕をボールの方向に動かす場合を含め、手や腕を用いて意図的にボールに触れる。（自分のペナルティーエリア内のゴールキーパーを除く）

(2) 間接フリーキックになる反則

- ① 危険な方法でプレーする（足を高く上げる、ボールを挟む、ボールの上に覆い被さる など）
- ② ゴールキーパーがボールを手から放すのを妨げる。
- ③ ゴールキーパーが、ボールを放すまでに、手で6秒を超えてコントロールする。
- ④ ゴールキーパーが、ボールを手から放した後、他の競技者がそのボールに触れる前に手でボールに触れる。
- ⑤ ゴールキーパーが、味方から意図的にキックまたはスローインされたボールを手で触れる。
- ⑥ インプレー中に下記の警告となる反則の②、③の行為を行う。

(3) 警告

競技者、交代要員、チーム役員は、次のいずれかの行為をフィールド上やベンチ周辺で行った場合、警告し、イエローカードを与える。

- ① 明らかに無謀なファウル
- ② 異議を示す、攻撃的、侮辱のまたは下品な発言や身振りを行う。
- ③ 負傷を装って、またファウルをされたふりをして（シミュレーション）、主審を騙そうとする。

(4) 退場

競技者、交代要員は、次の反則のいずれかを犯した場合、退場を命じられ、その試合に復帰することはできない。

- ① 著しく不正かつ危険なファウルおよび行為
② 同じ試合の中で2つ目の警告を受ける。

(5) 同時に2つ以上の反則が起きたときはより重いものを罰する。

(6) アドバンテージ 適用しない。

競技規則

第13条 フリーキック

(1) すべてのフリーキック

- ① 下記の例外を除き、反則の起きた場所から行う。
- ② 相手競技者はボールから6 m以上離れる。キックがペナルティーエリア内から行われる場合、インプレーになるまでペナルティーエリア内に入ることはいできない。
- ③ ボールは静止していなければならず、蹴られて明らかに動いたときにインプレーとなる。
- ④ キッカーが蹴った後に、他の競技者が触れる前にボールに触れた場合、その地点から相手チームに間接フリーキックが与えられる。
- ⑤ 上記①～④が起こった場合、キックは再び行われる。
- ⑥ キックされたボールが自分のゴールに直接入った場合、コーナーキックが与えられる。

(2) 直接フリーキック

- ① 相手ゴールに直接入った場合、得点となる。
- ② 相手のペナルティーエリア内での直接フリーキックに相当する反則は、ペナルティーキックを行う。
(第14条参照)

(3) 間接フリーキック

- ① 相手ゴールに直接入った場合、ゴールキックが与えられる。
- ② 相手のペナルティーエリア内での間接フリーキックは、反則の起きた地点に最も近いペナルティーエリアのライン上から行う。

第14条 ペナルティーキック

- (1) ペナルティーキックから直接得点することができる。
- (2) 以下の進め方が正しく行われなかった場合、キックは再び行われる。
 - ① ボールはペナルティーマーク上に静止していなければならない。
 - ② キッカーは特定されなければならない。
 - ③ ゴールキーパーはゴールポスト間のゴールライン上に立つ。
 - ④ キッカーとゴールキーパー以外は、キックが行われるまでペナルティーエリア外でボールより後方にいなければならない。

第15条 スローイン

- (1) ボールの全体がタッチラインを越えたときに、最後にボールに触れた競技者の相手競技者に与えられる。スローインから直接得点することはできない。
- (2) 以下の進め方が正しく行われなかった場合、同じチームが再びスローインを行う。再度正しく行われなかった場合は相手チームのスローインで試合を再開する。
 - ① ボールが出た地点のタッチライン上またはその外から行う。
 - ② 両足を地面につけ、頭の後方から頭上を通して両手で投げる。
 - ③ スローワーは、他の競技者が触れるまで再びボールに触れることはできない。

第16条 ゴールキック

- (1) 最後に攻撃側競技者が触れたボールの全体がゴールラインを越え、得点とならなかったときに守備側チームに与えられる。
- (2) 以下の進め方が正しく行われなかった場合、同じチームが再びゴールキックを行う。
 - ① ペナルティーエリア内の任意の地点から、静止したボールを蹴る。
 - ② ボールは、けられて明らかに動いたときにインプレーとなる。
 - ③ 相手競技者は、インプレーになるまでペナルティーエリアの外にいる。
 - ④ キッカーは蹴った後、他の競技者が触れるまで、再びボールに触れてはならない。
 - ⑤ 直接得点することはできない。

第17条 コーナーキック

- (1) 最後に守備側競技者が触れたボールの全体がゴールラインを越え、得点とならなかったときに攻撃側チームに与えられる。コーナーキックから直接得点することができる。
- (2) 以下の進め方が正しく行われなかった場合、同じチームが再びコーナーキックを行う。
 - ① ボールは、ゴールラインを越えた地点にもっとも近い方のコーナーエリアの中に置かななければならない。
 - ② キックが行われるまで、相手競技者は、コーナーエリアから6 m以上離れなければならない。
 - ③ ボールは静止していなければならず、蹴られて明らかに動いたときインプレーとなる。
 - ④ キッカーは蹴った後、他の競技者が触れるまで、再びボールに触れることはできない。



株式会社三沢林業は
第16回青森県障がい児・者サッカー大会を
応援しています！

株式会社三沢林業



Misawa
Forestry

〒033-0022

青森県三沢市大字三沢字園沢96-16

TEL : 0176-58-0370

FAX : 0176-58-0371

CAR SUPER

安くて便利!!おしゃれな車がいっぱい!!

パンダレンタカー

☎017-729-2626【営業時間】9:30~19:00 ※定休日:水曜日



パンダレンタカーは良質な車両だけをご用意しています!!

クルマの選択で迷ったら、お気軽にスタッフにお尋ねください。

人数や目的地などによって最適なお車をご紹介します。

レンタカーのご利用が初めての方にも、

親切丁寧に返却時の注意点などをご説明させていただきます。

K-1

ワゴン



ムーヴ・アルト・ワゴンR・モコ等

K-2

ワゴン

premium タント・バレット
キャンバス・キャスト等

A-1

ワゴン



スイフト・ヴィッツ等

A-2

ワゴン



premium ルーミー・ブーン等

S

ワゴン



ラッシュ

W-1

ワゴン



セレナ・エスティマ等

W-1P

ワゴン



セレナ・ヴォクシー等

W-2

ワゴン



ハイエースワゴン等

T

ワゴン



キャリー MT 車

V-1

ワゴン



ハイゼットバン

V-2

ワゴン



ハイエースバン

WX

ワゴン



コースター・リエッセ 等

おしゃれな車が
いっぱい!!

安くて便利!!

パンダレンタカー

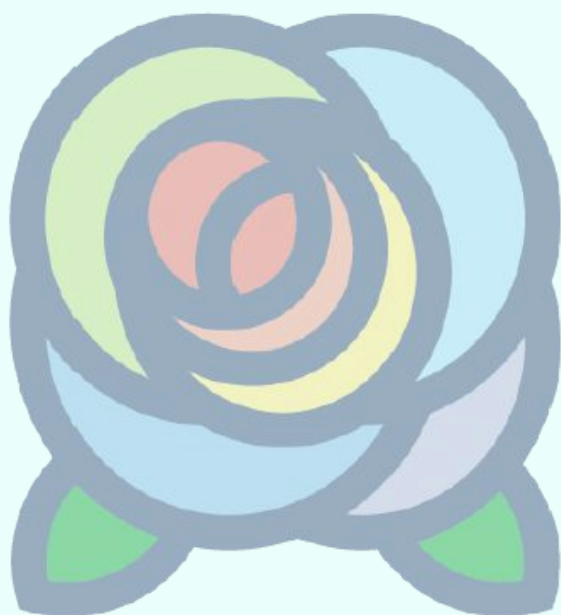
新型ヴォクシー入荷しました!! 最新車種でワクワクドキドキの楽しい旅へ!!

新レンタカークラス「W-1P クラス」が登場!!



社会福祉法人
青森令和会

青森市佃2丁目4-31
TEL 017-752-1800
<https://kirara-group.com>



株式会社 七輝

～こころにキラリと輝きを～

オープンカンパニー 参加者募集【26・27卒】

【1～4days】

北日本エネルギー株式会社を知るプログラム

当社のオープンカンパニーでは、複数の職種の中からご興味のある職種をお選びいただき、ご希望の日数で体験していただきます。働く環境や実際の業務を直接感じることができます。ぜひご参加ください。

実施期間

随時開催

ご希望をお伺いしたうえで調整いたします。

実施内容

会社説明・職場体験・座談会

～職種一覧～

- ・ サービスステーションでの接客販売
 - ・ 営業職の体験、同行
 - ・ 燃料の配送業務同行
 - ・ 総務、人事、経理などの事務職
 - ・ 給油船、太陽光発電、中古車販売店の見学 など
- ※開催地によってご希望に添えない場合がございます

開催地

東京、郡山、仙台、盛岡、青森、八戸、苫小牧、
函館、札幌、釧路、北見

応募方法

下記QRコードからご応募ください。



北日本エネルギー株式会社

所在地：東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-5

電話番号：03-3669-6411

連絡先：recruit@kitanihon-oil.co.jp





R.S.C

私たちは「第16回青森県障がい児・者サッカー大会 にっこにこフェスタあおもり」を応援しています

株式会社R. S. C

〒030-0121 青森市妙見2-9-13 TEL:017-752-1899

子ども達の ”やりたい” を応援しています



LINKSTATION presents

リンク トライ プロジェクト

LINK TRY PROJECT

キッズスポーツ支援



支援希望団体 募集!

大会パンフレット作成・Tシャツやビブス作成・大会特別賞等へ協賛

協賛概要

対 象	青森市内にて活動するキッズスポーツ(小学6年生まで)のイベント・大会などが対象です。
協賛金額	1協賛あたり5万円を上限とし、協賛金額は大会規模・活動規模や刊行物発行数などを目安に当社にて決定させていただきます。
協賛金の用途	協賛金は、イベント運営費、参加者への安全管理費、必要な資材の購入費など、活動に直接関連する費用として使用してください。
募集期間	3ヶ月毎のリンクトライプロジェクト予定枠数に達し次第、その期間の募集を締め切らせていただきます。 第3期 申込み期間 2025年8月1日～10月31日

応募方法

応募フォーム
はこちら▶



<https://x.gd/8IMPM>から応募フォームにお進みいただき以下の内容を記入し応募ください。

- 1.申請団体の情報(名称、所在地、代表者名、連絡先)
- 2.活動・イベントの概要(活動内容、目的、開催日時、場所、対象者、参加予定人数)
- 3.協賛金の用途(協賛金が具体的にどのような費用に充てられるか)
- 4.その他の協賛先または支援の有無
※複数の協賛企業がある場合、協賛額の合計が活動・イベントの予算を超えないようご注意ください。
- 5.協賛時の協賛特典内容
※例として、大会プログラム(500部発行予定)への広告掲載。
大会当日ののぼり設置(のぼりは当社で用意しております)など

お問い合わせ

株式会社リンクステーション
リンクトライプロジェクト担当までメールでお願いいたします。 Email:koubo@linkst.jp

詳しくはこちら▶



私たちは、スポーツ・音楽・文化の活動を支援し、まちと未来をつくります。

「私たちが大事にし、未来をつくる」この思いによって地域を活性化し「まちづくり」ができたらし考え活動しています。
そんな未来を目指した支援プロジェクトが「リンクトライプロジェクト」です。



石毛 秀樹選手
ウェリントン・フェニックスFC

CUSTOM ORDER ONLY hummel

ヒュンメルでオリジナルユニフォームをつくろう！

ユニフォームシャツ

¥9,460 (税込)～

発注単位 新規1型 4枚より
追加 1枚より
納期 約30日(長期休業日を除く)

HOW TO ORDER 注文方法

STEP. 1

ONLY hummelサイトにアクセス



STEP. 2

デザインを決定



STEP. 3

デザインを保存してお店へ

